

- 読谷村内において、既存の森林生態系を脅かす特定外来植物である「ツルヒヨドリ」の生育・拡大が確認されているため、村内にある世界遺産座喜味城址も森林区域に含まれており、当該森林区域における公益的機能の維持・増進を図るため、特定外来植物の対策が必要となっている。
- 令和4年度においても継続した取組としてモニタリング、分布調査や駆除作業を実施した。

□ 事業内容

文化財維持管理事業

- ・ 特定外来種である「ツルヒヨドリ」のモニタリングや駆除作業を行った

【事業費】8,370千円（うち譲与税4,312千円）

【実績】座喜味城跡史跡内44,193㎡において、約1,676㎡の範囲でモニタリング及び駆除を行った。

□ 取組の背景

- R1年度に、村単独費で分布確認を行った。
- 譲与税の活用により、R1年度以降、継続して駆除作業を実施している。



(駆除の様子①)



(駆除の様子②)

□ 工夫・留意した点

- ・ 生育箇所の拡大防止となるように、継続してモニタリング・駆除作業を実施している

□ 取組の効果

- ・ ツルヒヨドリの繁茂により、森林区域の公益的機能の維持・増進が図られる。

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：4,312千円	②私有林人工林面積（※1）：1ha	
③林野率（※1）：27.3%	④人口（※2）：41,206人	⑤林業就業者数（※2）：0人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より